

2025年度（2026年3月期） 中間決算説明会



NOK株式会社

2025年11月10日

- 堅調なシール事業が電子部品事業の苦戦を一部カバー
 - ✓ 中間期では期初予想比較で上振れも、通期営業利益予想を下方修正
 - ✓ 通期の当期純利益は期初予想を維持。営業利益の下振れや、事業譲渡に伴う特別損失などのマイナス要因を、追加の政策保有株式売却により吸収
- 持続的な企業価値向上に向けた施策の実行
 - ✓ イーグル工業との経営統合契約締結
 - ✓ ポートフォリオ最適化に向けたロール製品事業の譲渡
- 中期経営計画で掲げた目標にこだわり、できることを実行

2025年度中間期連結業績サマリー



(単位：億円)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	増減	2025年度 中間期 期初予想
売上高	3,937	3,594	△8.7%	3,465
シール	1,791	1,814	+1.3%	1,761
電子部品	1,975	1,626	△17.7%	1,550
営業利益	191	157	△17.7%	150
シール	112	129	+14.6%	97
電子部品	65	22	△66.5%	49
中間純利益*	136	133	△2.0%	136

*親会社株主に帰属する中間純利益

2025年5月公表

イーグル工業との共同株式移転による経営統合：概要



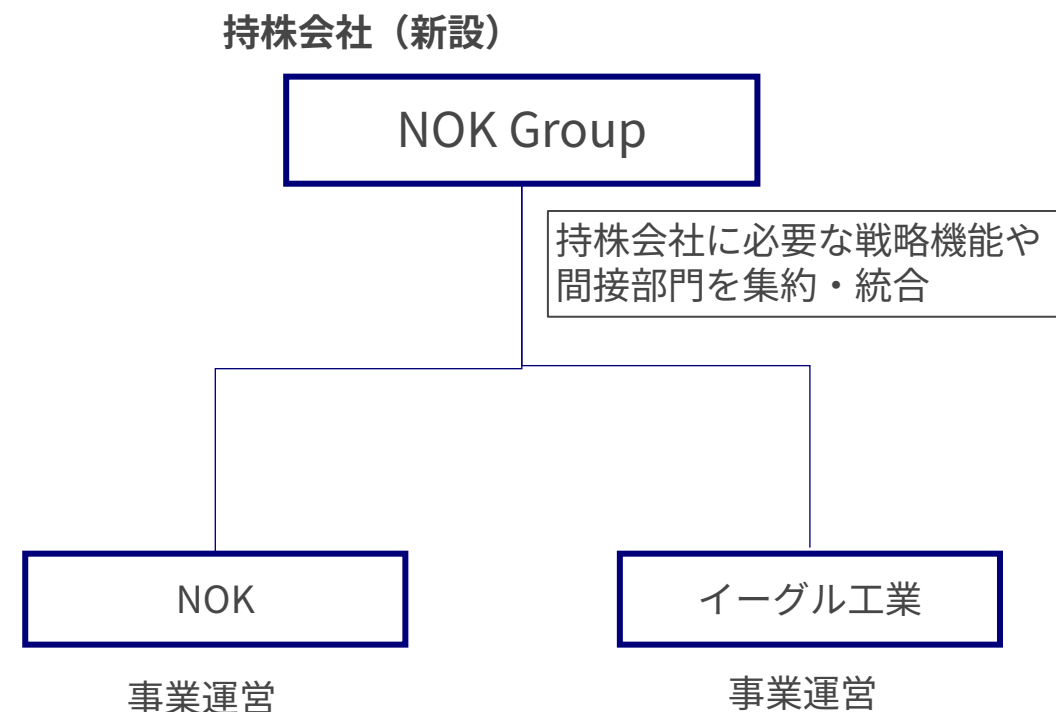
共同持株会社設立による経営統合契約を締結

- 共同株式移転により持株会社NOK Group株式会社を新設
※東証プライム市場に上場申請予定
- NOKおよびイーグル工業は持株会社の完全子会社となる
※両社の株式は2026年9月末で上場廃止
- 交換比率

	NOK	イーグル工業
新社普通株の割り当て	1.00	1.00

- 今後のスケジュール
 - ✓ 2026年6月：定時株主総会による承認
 - ✓ 2026年10月：共同持株会社発足

2026年10月時点のグループ体制



イーグル工業との共同株式移転による経営統合：期待されるシナジー



- グループ資源の最適化によるさらなる事業成長
 - ✓ 異なる得意領域、顧客基盤を活かした売上成長
 - ✓ それぞれの技術面での強みを生かした製品ラインアップの拡充
- 効率的事業運営による収益力の強化
 - ✓ 国内外での物流・営業や生産拠点の効率的運用
 - ✓ 規模拡大による購買力の向上
- より効果的な経営資源の配分
 - ✓ 持株会社への間接部門の集約・統合
 - ✓ 両社のシール事業全体を俯瞰した投資戦略に基づく資源配分

今後の統合準備の中でより具体的なシナジーを検討・精査していく

ポートフォリオ最適化に向けたロール製品事業の譲渡



NOKグループの経営資源配分の最適化および当該事業の価値最大化のため

- 対象：事務機器用ロール製品事業を行うシンジーテック株式会社とその国内外子会社
- 譲渡先：SMBCキャピタル・パートナーズ
- 株式譲渡の完了は本年12月中を予定
- NOKの連結業績へのインパクト
 - ✓ 第3四半期に株式売却損（特別損失）100億円程度を計上する見込み
 - ✓ 譲渡完了後、同事業はNOKグループの連結範囲外になるが、当期連結財務諸表への影響は軽微

- 現NOKの次期中期計画は現在立案中
- 対外公表について
 - ✓ 2026年5月の決算発表時点では、現行中計の振り返りを踏まえた戦略など、定性的な紹介になる見込み
 - ✓ 経営統合後の経営計画の公表はクロージング以降

2025年度 中間期連結業績



(単位：億円)

	24年度 中間期実績	25年度 中間期実績	前年同期比	25年度 中間期 期初予想
売上高	3,937	3,594	△8.7%	3,465
営業利益	191	157	△17.7%	150
営業利益率	4.8%	4.4%	△0.5pt	4.3%
経常利益	211	216	+2.3%	205
中間純利益*	136	133	△2.0%	136
一株当たり利益（円）	82.61	81.66	△0.95	82.89

*親会社株主に帰属する中間純利益

2025年5月公表

平均為替レート（円/ドル）	153.64	146.15
---------------	--------	--------

対前年同期での為替影響
売上高：△71億円、営業利益：△3億円

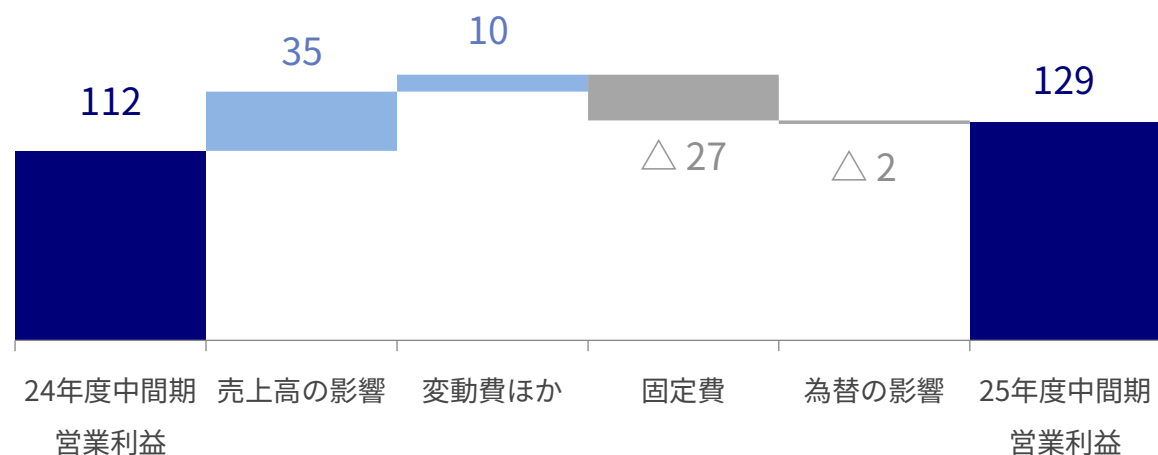
2025年度中間期実績：シール事業セグメント



(単位：億円)

	24年度 中間期	25年度 中間期	増減	25年度 中間期 期初予想
売上高	1,791	1,814	+23	1,761
営業利益	112	129	+16	97
営業利益率(%)	6.2%	7.1%	+0.8pt	5.5%

■ 営業利益：増減分析



■ 売上高

- ✓ 為替の影響 △16億円
- ✓ 価格交渉努力に加え、建設機械など一般産機向けの売上が増加

✓ 売上高の影響

販売増および売価影響による利益増

✓ 変動費ほか

(利益増) 材料費等、原価低減

✓ 固定費

(利益減) 人件費、経費

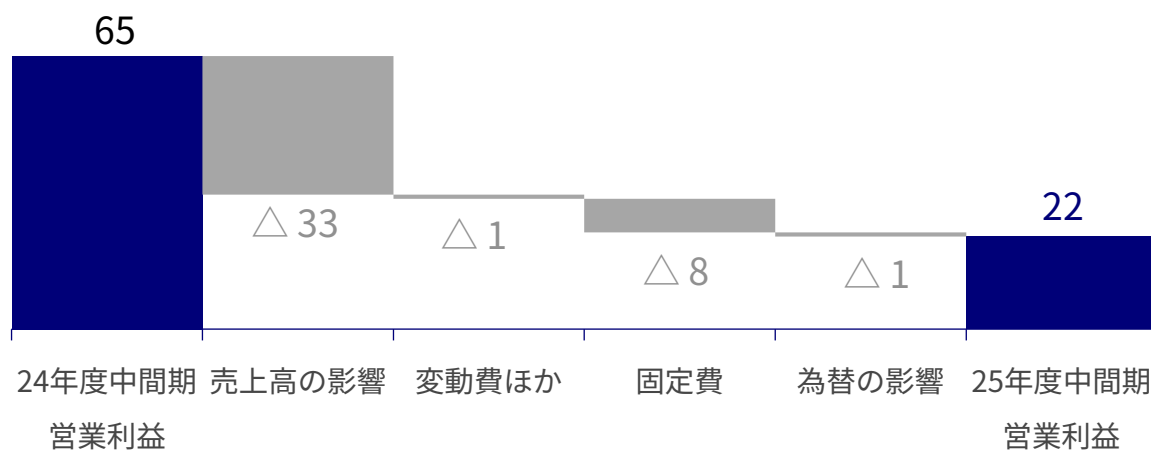
2025年度中間期実績：電子部品事業セグメント



(単位：億円)

	24年度 中間期	25年度 中間期	増減	25年度 中間期 期初予想
売上高	1,975	1,626	△349	1,550
営業利益	65	22	△43	49
営業利益率(%)	3.3%	1.3%	△2.0pt	3.2%

■ 営業利益：増減分析



■ 売上高

✓ 為替の影響 △51億円

✓ 自動車向け、スマートフォン向け販売が減少

※為替影響、部品代を除く実質的な売上は△約95億円

✓ 売上高の影響

実質的な売上の減少

✓ 変動費ほか

(利益減) 歩留まり

✓ 固定費

(利益減) 償却費

※当期特有の要因：

- ・生産効率低下による一過性の悪化
- ・アジア拠点での対ドルでの現地通貨高による影響

2025年度中間期実績：期初予想との比較



シール事業：売上高+54億円、営業利益+32億円

売上高：為替の影響 +37億円

✓ 自動車向け、一般産機向けともに上振れ

営業利益：

✓ 売上の上振れに加え、経費の下期への期ずれもあり

電子部品事業：売上高+76億円、営業利益△27億円

売上高：為替の影響 +70億円

✓ 為替影響、部品代を除いた実質的な売上 約△10億円
主に自動車、スマートフォン向けで下振れ

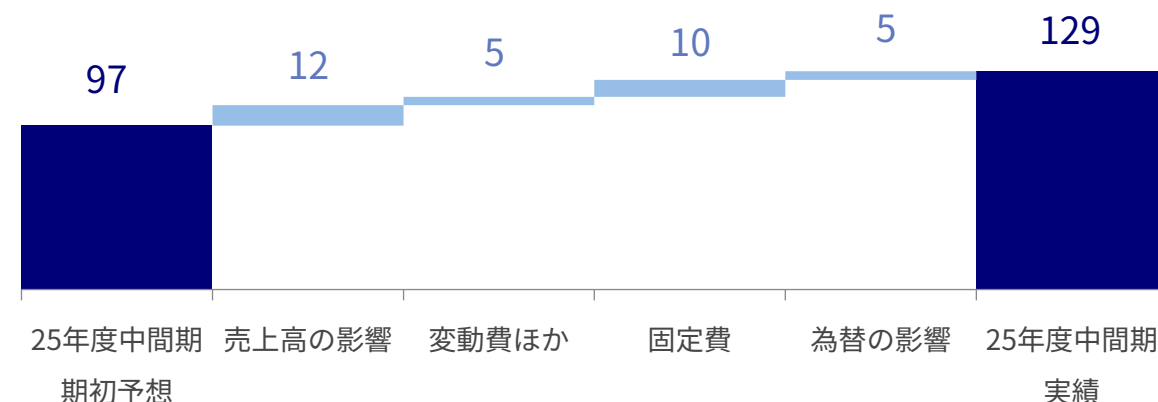
営業利益：

✓ 実質的な売上の下振れに加え、人件費が上振れ

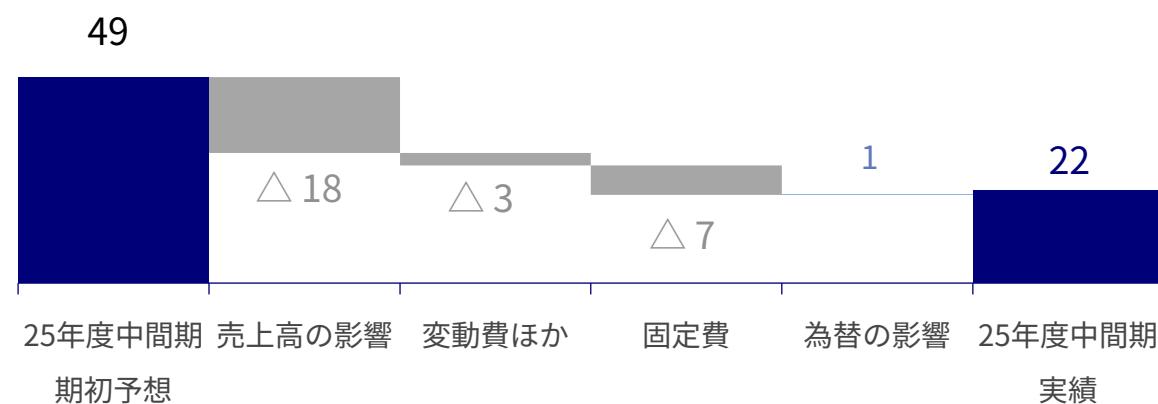
※当期特有の要因：

- ・生産効率低下による一過性の悪化
- ・アジア拠点での対ドルでの現地通貨高による影響

■ 営業利益：期初予想と実績の比較



■ 営業利益：期初予想と実績の比較



2025年度 連結業績予想



(単位：億円)

	25年度 期初予想	25年度 修正予想	変動	24年度 実績
売上高	7,071	7,269	+198	7,669
営業利益	377	329	△48	373
営業利益率	5.3%	4.5%	△0.8pt	4.9%
経常利益	485	451	△34	481
当期純利益*	365	365	-	303
一株当たり利益 (EPS)	222.47	223.47	1.10	184.81
*親会社株主に帰属する当期純利益				
平均為替レート (円/ドル)	140.00	欄外参照*		152.74

*25年10月以降を150円／ドルで設定

2025年度通期予想：シール事業セグメント



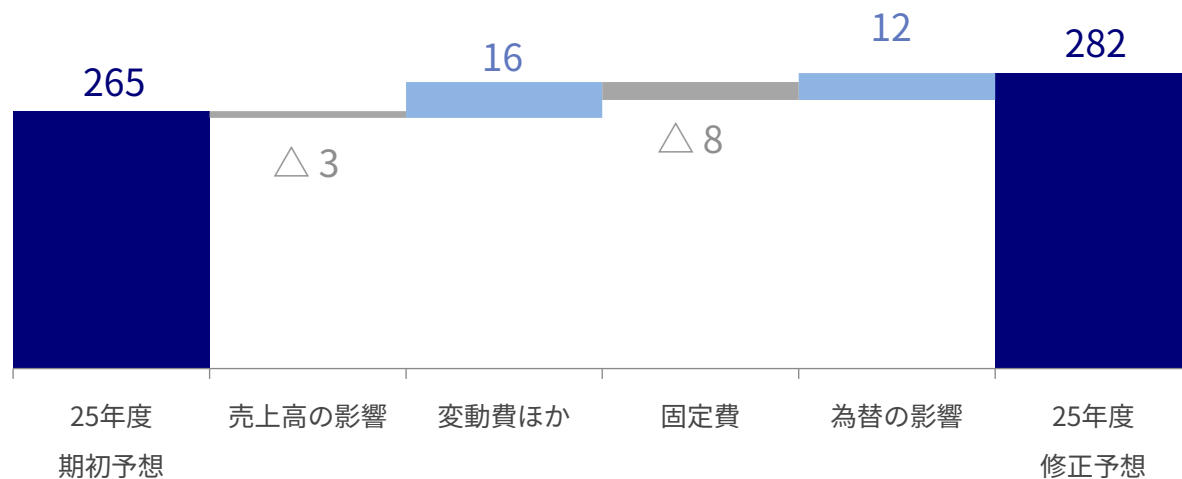
(単位：億円)

	25年度 期初予想	25年度 修正予想	増減	24年度 実績
売上高	3,581	3,661	+80	3,627
営業利益	265	282	+17	262
営業利益率(%)	7.4%	7.7%	+0.3pt	7.2%

■ 売上高

- ✓ 為替レート前提見直しによる影響 +約95億円

■ 営業利益：期初予想からの変動



✓ 売上高の影響

為替を除くと若干マイナスの売上予想

✓ 変動費ほか

(利益増) 材料費等

(利益減) 棚卸評価

✓ 固定費

(利益増) 償却費

(利益減) 経費、人件費

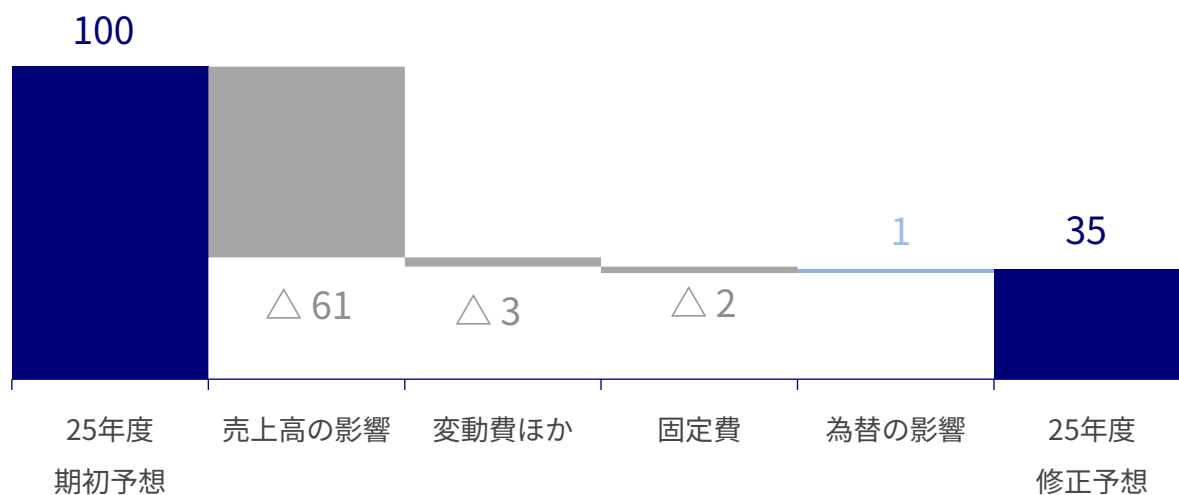
2025年度通期予想：電子部品事業セグメント



(単位：億円)

	25年度 期初予想	25年度 修正予想	増減	24年度 実績
売上高	3,180	3,344	+164	3,710
営業利益	100	35	△65	89
営業利益率(%)	3.1%	1.0%	△2.1pt	2.4%

■ 営業利益：期初予想からの変動



■ 売上高

- ✓ 為替レート前提見直しによる影響 +約190億円
- ✓ 主にスマートフォン向け、自動車向けの部品代を除く実質的な売上予想を下方修正

※為替影響、部品代を除く実質的な売上は△約90億円

✓ 売上高の影響

実質的な売上の減少

✓ 変動費ほか

(利益減) 歩留まり

✓ 固定費

(利益増) 経費

(利益減) 償却費

※当期特有の要因：

- ・生産効率低下による一過性の悪化
- ・アジア拠点での対ドルでの現地通貨高による影響

■ 電子部品事業の苦戦をシール事業が一部カバー

- ✓ 堅調なシール事業は予想を上方修正
 - 価格交渉による収益性の改善努力の継続
 - 一般産機向け：低迷が続いていた市況に徐々に回復の兆し
- ✓ 電子部品事業の利益が以下の要因により下振れする見込み
 - スマートフォン向け販売引き下げ：前期需要の一部に、顧客側での追加生産があった可能性
 - 欧州OEM向けのプロジェクト中止などもあり、車載バッテリー向けが下振れ
 - 一部製品の製造において生産効率が低下
 - アジア拠点における、対ドルでの現地通貨高による売上・利益へのマイナス影響

■ 電子部品事業の今後の見通し

- ✓ 当期発生した製造上の懸案はすでに解決し、今後生産効率は改善する見込み
- ✓ 車載：日系OEMでの着実な実績により今後の裾野の拡大を期待、FY26から立ち上がる欧州OEM向けBEVへの期待

- バランスシート適正化に向け、中計目標を超えて政策保有株式を縮減する
- 営業利益予想の引き下げ、事業譲渡に伴う特別損失の影響を売却益で吸収

通期業績予想に含まれる投資有価証券売却益

25年11月
修正予想

250億円

期初予想（25年5月）から175億円上積み

※実際の売却益は売却時点の株価等により変動

中計の売却目標を超える見通し

23年3月末残高に対して3年間の売却

中計目標
25%



最新見通し
40%

※比率は23年3月末時価ベースで換算

資本効率性の向上のため、中計の指標も視野に、当期中にさらに売却を進めることも検討

- 本年5月に公表したキャピタルアロケーションポリシーに則り、成長投資を最優先
- 株主還元：中計の総還元目標（675億円/3年間）は現時点では不変
 - ✓ 現在検討中の投資案件の状況により、このタイミングで自己株式取得は実施しない
 - ✓ 配当予想を変更：従来予想から20円増配の130円／株

	中間配当	期末配当（予想）	年間配当（予想）
従来予想	55円	55円	110円
今回	65円	65円	130円

※なお、現在保有する自己株式のうち、7,435,847株を11月28日に消却予定

キャピタルアロケーションポリシー

- 事業への投資（オーガニック／インオーガニック成長投資、設備投資）を最優先
- 中長期的な事業成長に基づく段階的な増配
- 事業投資などの資金状況を総合的に勘案した自己株式取得

当資料でご説明するNOK株式会社およびグループ各社の計画、見通し、方針、戦略、意見などのうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた内容に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

また、当資料の中でご説明する内容の正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じて一切責任を負いかねます。

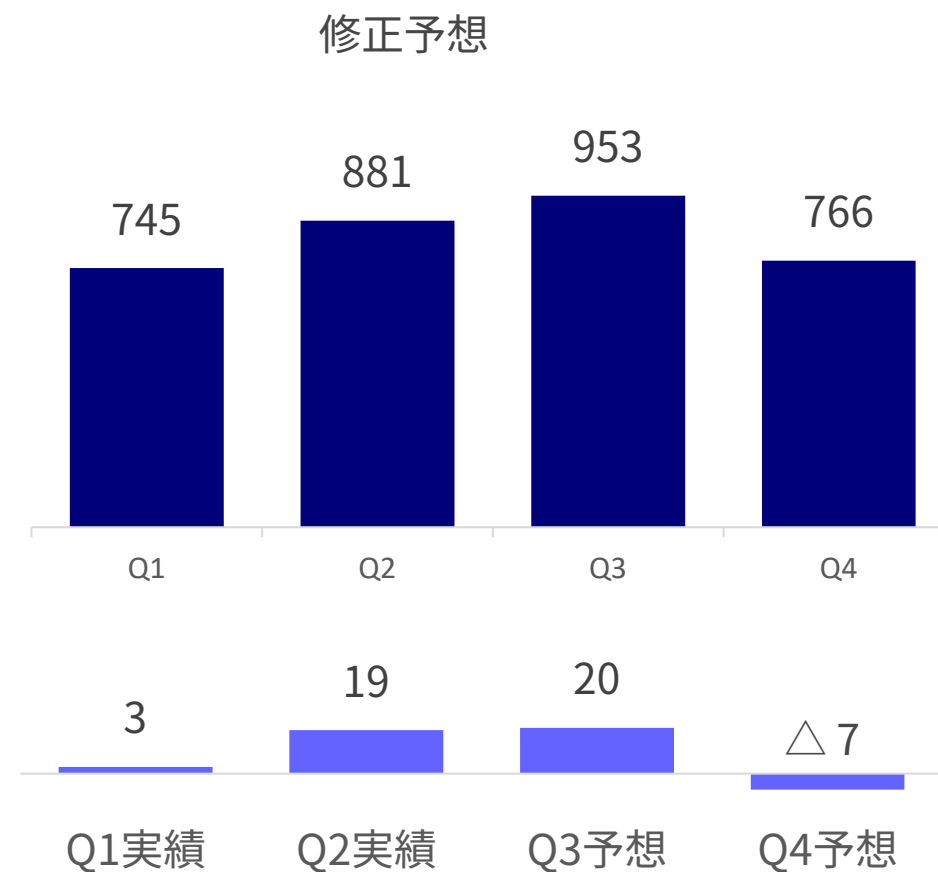
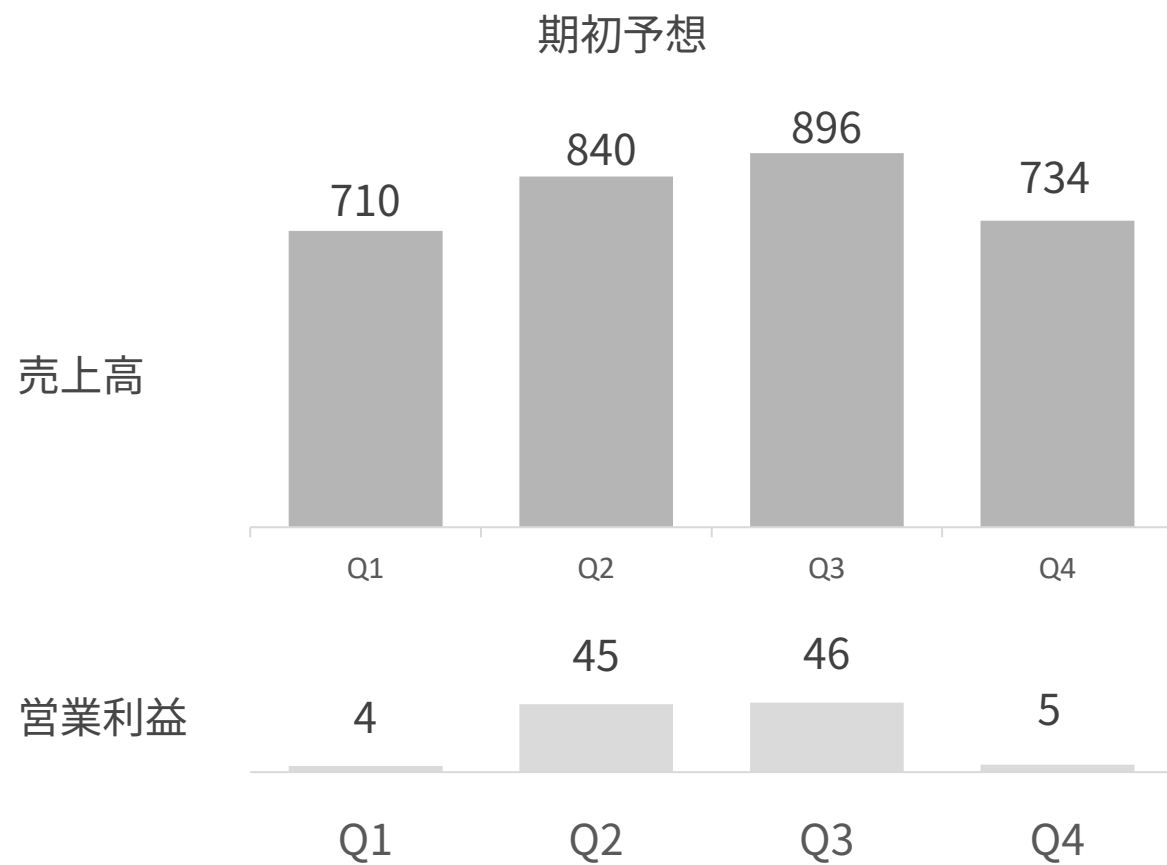
また、当資料の著作権は、NOK株式会社に帰属しており、無断転載・複製することはご遠慮ください。



電子部品事業セグメント：業績の四半期推移見通し



電子部品：四半期業績推移（単位：億円）



連結貸借対照表サマリー



(単位：億円)

	24年度 実績	25年度 中間期実績	前期末対比
資産	8,987	9,361	+374
流動資産	4,207	4,377	+169
現預金	1,368	1,338	△30
売掛債権	1,629	1,733	+103
棚卸資産	1,061	1,176	+115
固定資産	4,779	4,984	+205
有形固定資産	2,453	2,476	+23
無形固定資産	147	147	△0
投資その他資産	2,179	2,361	+182
投資有価証券	1,621	1,770	+148

	24年度 実績	25年度 中間期実績	前期末対比
負債	2,752	2,972	+220
流動負債	1,863	2,045	+183
買掛金	610	696	+86
短期借入金	441	484	+44
固定負債	890	927	+37
長期借入金	176	175	△1
繰延税金負債	210	253	+44
純資産	6,234	6,389	+155
株主資本	4,318	4,368	+49
その他包括利益	1,472	1,621	+149

連結キャッシュフロー計算書サマリー



(単位：億円)

	24年度 中間期実績	25年度 中間期実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	381	284	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△224	+7
フリーキャッシュ・フロー	150	60	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129	△131	△1
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	42	+38
現金及び現金同等物の増減額	24	△29	△53
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,387	1,332	△55